

# 東京農業大学大学院農学研究科学位授与方針（ディプロマポリシー）

## 博士前期課程・修士課程

### **＜農学研究科＞**

農学研究科博士前期課程・修士課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学を基盤とした生物資源、生命科学、環境科学、健康科学ならびに経営・経済の分野において、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者および高度専門技術者を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 生命、食料、環境、健康、エネルギー、地域創成などに係わる確かな知識と技術を有している。
- (2) 研究者、教育者あるいは専門家として活動しうる能力を有している。
- (3) 論文の執筆や発表を行う能力、さらに多様な発信力を有している。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を有している。

### **＜農学専攻＞**

農学専攻博士前期課程は、作物または園芸作物の生産、育種、バイオテクノロジー、ポストハーベストおよび農作物にかかわる微生物や昆虫類に関する分野において、優れた発想および問題解決の能力を備えた人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下のような能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 各専門領域において確かな知識と技術を有している。
- (2) 専門技術者、教育者、研究者としての能力を有している。
- (3) 論文執筆や口頭発表を行う能力および多様な発信力を有している。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、農業現場および広く社会における問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を有している。

### **＜畜産学専攻＞**

畜産学専攻博士前期課程では、畜産・動物科学分野において、高度な知識と技術を合わせ持ち関連分野で様々な課題に対応できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 畜産・動物科学分野を俯瞰した知識を持ち、諸問題を理解する能力を有している。
- (2) 課題に対し自ら考えこれを検証する意欲と、能力を有している。
- (3) 自ら導いた解決策を公表し、議論する能力を有している。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、社会の発展のため取り組む意欲を備えている。

## ＜バイオセラピー学専攻＞

バイオセラピー学専攻博士前期課程は、環境および福祉農学分野において、持続的な社会のあり方を提言できる豊かな感性と問題解決能力を有し、社会の現場で実務的役割を果たす知的リーダーとなる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) バイオセラピー学に関する確かな知識と技術を有している。
- (2) 研究テーマについての的確な方法に基づきデータを収集し、分析することができる。
- (3) 論理的で説得力のある文章およびプレゼンテーションによる表現能力を有している。
- (4) 生命に対する高い倫理観を持ち、科学者としての規範を正しく理解し実践することができる。
- (5) 高度な専門知識と技術を、社会で活かす能力および意欲を有している。

## ＜バイオサイエンス専攻＞

バイオサイエンス専攻博士前期課程では、生命科学分野において、優れた人間性を有し国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、次のような者に修士の学位を授与します。すなわち、生命科学の専門領域において

- (1) 確かな知識と技術を有している。
- (2) 研究者、教育者あるいは専門家としての能力を有している。
- (3) 科学者倫理を理解し、問題設定・解決能力を備えている。
- (4) 成果発表能力、発信力を備えている。

## ＜農芸化学専攻＞

農芸化学専攻博士前期課程では、人類の生活にかかわる課題を農芸化学的アプローチにより解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 農芸化学に関する幅広い基礎知識と研究能力を有している。
- (2) 得られた研究成果を自ら解析し、応用できる能力を有している。
- (3) 英語論文などから情報を的確に得て、応用できる能力を有している。
- (4) 学会発表などにより研究成果を伝えることのできる能力を有している。

## ＜醸造学専攻＞

醸造学専攻博士前期課程は、基礎科学知識に精通し微生物学・化学・生物工学に関する研究能力を有する人材ならびに高度な発酵技術を有し醸造業をはじめとする微生物利用産業の発展を支

える研究者や高度専門職業人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 醸造学を基盤とし酒類生産学、発酵食品学、醸造微生物学、醸造環境科学などの専門分野における確かな知識と技術を有している。
- (2) 微生物学、化学または生物工学を基盤とした研究能力を有している。
- (3) 論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を有している。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、問題設定および解決能力を備えている。

### ＜食品栄養学専攻＞

食品栄養学専攻博士前期課程は、本学・農学研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する広範かつ確かな学識を獲得し、高度な専門職業人として食品栄養学周辺領域の人とも協同し社会で活躍できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 食品栄養学の高度で広範な専門的知識や技術を有している。
- (2) 食品栄養学における高度専門職業人として活躍する際に求められる情報収集力、観察・分析力と論理的思考を有している。
- (3) 科学者倫理を理解し、課題設定や課題解決能力を備えている。
- (4) 情報発信のためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有している。

### ＜林学専攻＞

林学専攻博士前期課程では、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を備えた人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 森林学・林学の専門領域における高度な知識を有している。
- (2) 森林学・林学の専門領域における研究能力および管理能力を有している。
- (3) 森林の保全とその多面的機能の高度利用を目指し、生物多様性の保全や循環型社会の形成に対する問題設定・解決能力を有している。

### ＜農業工学専攻＞

農業工学専攻博士前期課程では、農業土木および農業機械分野の学問を基軸として、国内のみならず海外の現場での技術開発・問題解決と学術的な研究を両立できる高度な能力を持った人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 農業工学に関する専門知識と研究能力を有している。
- (2) 国内のみならず海外の現場での農業工学の専門領域における技術開発や問題解決に役立て

る能力を備えている。

### ＜造園学専攻＞

造園学専攻博士前期課程では、「人間と自然との共存」を基本とした合理的で快適な土地空間を創造あるいは保全し、秩序づけることのできる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 造園学に関する専門領域において、確かな知識と技術、研究・デザイン能力を備えている。
- (2) 快適環境を具体化するための問題設定・解決能力を備えている。
- (3) 論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらにプレゼンテーションなどを通じた多様な発信・表現力を有している。
- (4) 科学者としての倫理観を理解し、その専門性に基づいて広く社会への責任を果たそうとする意欲と能力を有している。

### ＜国際農業開発学専攻＞

国際農業開発学専攻博士前期課程では、自然科学および社会科学にわたる広範な学問領域からのアプローチにより、農業開発や国際協力にかかわる問題の解決を図るための論理的な思考力と実践力を持つ人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 自然科学と社会科学にわたる領域において、世界各地の多様な自然と社会を理解するための素養となる知識を有している。
- (2) 農業開発や国際協力にかかわる諸問題を明らかにし、その解決のために研究方針と目的を設定することができる。
- (3) 農業開発や国際協力にかかわる研究を遂行する能力を有している。
- (4) 農業開発や国際協力にかかわる研究成果を、社会にむけてわかりやすく発表する能力を有している。

### ＜農業経済学専攻＞

農業経済学専攻博士前期課程は、農業経済学および関連社会科学分野において、変化する社会・経済情勢に的確に対応のできる分析能力を有し、農業および関連産業と社会の発展に資する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 食料、農業、環境の農業経済学的側面にかかわる確かな知識を有している。
- (2) 農業経済学および関連分野において、研究者、教育者あるいは専門家として活動しうる能力を有している。
- (3) 図表を効果的に利用しながら文章で適格に表現して、情報発信する能力を有している。
- (4) 社会科学の視点から倫理を理解し、社会の諸問題を解決する意欲と能力を有している。

## ＜国際バイオビジネス学専攻＞

国際バイオビジネス学専攻博士前期課程では、バイオビジネス学分野において、バイオビジネスの持続的発展に寄与するビジネスリーダーや研究者等の人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 経営学を基礎とするバイオビジネス学の専門知識と研究能力を有している。
- (2) 現場での問題解決に向けた計画立案・遂行能力を有している。
- (3) バイオビジネスにおいて活躍できるコミュニケーション能力や教養を備えている。

## ＜食品安全健康学専攻＞

食品安全健康学専攻修士課程は、「食品の安全性」と「食品の機能性」の両分野において、食の安全と健康機能上の問題解決力を身につけた研究者や高度な専門職業人を輩出するため、以下の要件を満たし、かつ、所定の単位を修得した学生に修士（食品安全健康学）の学位を授与します。

- (1) 「食品の安全性」について、食品（成分）のリスクの科学的評価、当該リスクの的確な管理、さらに、リスク情報の正しい発信に関する深い造詣と、広範な専門的知識を修得している。
- (2) 「食品の機能性」について、食品中の新規機能性成分の探索、当該機能の解明と応用に関する深い造詣と、広範な専門的知識を修得している。
- (3) 前二項に関する高度な専門的知識・研究能力・倫理性を持って修士論文を作成することを通じて、難度の高い問題を解決し、その結果を社会に対して的確に発信する能力を修得している。

## ＜生物産業学研究科＞

生物産業学研究科博士前期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、北方圏の地域性を活用した生物産業学を基盤としたそれぞれの専攻分野において、確かな知識と技術を有する研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 農林水産にかかわる生物資源、バイオテクノロジー、利用・加工、経営経済などにかかわる確かな知識と技術を身につけている。
- (2) 研究者、教育者あるいは専門家として活動しうる能力を身につけている。
- (3) 論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を身につけている。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を身

につけている。

### ＜生物生産学専攻＞

生物生産学専攻博士前期課程は、北方圏の動植物資源の利用と新規生物資源の開発、北方圏生態系の保全、それらを活用する先進的なバイオテクノロジーを題材とする実践的な教育研究を通して、それぞれの分野において高い専門性を有し、自らの力で自然科学分野における諸課題を探究し解決するための方針を設定することのできる指導的役割を担う人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 生物資源やバイオテクノロジーにかかわる確かな基礎知識と技術を有し、生命科学における研究方法を身につけている。
- (2) 研究者、教育者あるいは専門家として指導的役割を担う際に必要とされる課題探究力と、関連する科学的知見を収集し分析する能力を有している。
- (3) 研究成果を社会に広く発信するための論理構成力と文章表現力を有し、成果発表を行うためのプレゼンテーション力を身につけている。
- (4) 生物生産に関わる各自の専門性を活かして研究の成果を社会に還元するための意欲を有し、倫理観をもって自ら実践することができる。

### ＜アクアバイオ学専攻＞

アクアバイオ学専攻博士前期課程は、オホーツク水圏の水産資源の持続的利用および資源増大に資するために水圏資源の環境、生産、加工、流通・ビジネスを一連のプロセスとして学び、水圏環境学、水産生物学や水産増養殖学を基盤とした専攻分野において、専門性の高い指導的役割を果たせる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) オホーツク水圏の豊かな自然環境と調和した持続可能な漁業生産を支えるとともに、安心安全な水産物を安定的に提供するための水産増養殖を理解し、本専攻の基盤となる学問に係る確かな知識と技術を身につけている。
- (2) 多様な水圏科学に関する専門性を活かした研究者、教育者あるいは専門家として活動する能力を身につけている。
- (3) 修士論文の作成を通して、水圏科学における課題を発見し解決するための研究テーマを探索して研究に取り組み、得られた成果をまとめて論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を身につけている。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、水圏科学における社会の問題に目を向け、その解決に取り組む意欲と能力を身につけている。

### ＜食品香粧学専攻＞

食品香粧学専攻博士前期課程は、食品や香粧品の加工・機能性・安全性に関する高度な研究と教育を通して、食と健康に関わる学問領域における専門知識と研究能力を有し、これらの分野において社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 本学に所定の期間在籍し、講義や実験科目を通して食品香粧学関連の実践的で高度な専門的知識を身につけている。
- (2) 修士論文の作成と関連する講義実験を通して、食品や香粧品の加工、機能性あるいは安全性に関する論理的な課題設定力と問題解決能力、表現力を身につけている。
- (3) 食品および香粧品業界において、機能性の研究、安全性試験あるいは加工などの業務に従事し、指導的な役割を果たす能力を身につけている。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、食品や香粧品に関連する社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を身につけている。

## ＜産業経営学専攻＞

産業経営学専攻博士前期課程は、建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、わが国有数の生物資源・自然資源を持つ北海道オホーツク地域という学びのフィールドを通して、地域生物産業ならびに関連産業・地域企業および地域社会の持続的発展に寄与する研究者、高度な専門職業人、経営コンサルタント等の人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。

- (1) 地域生物産業ならびに関連産業・地域企業および地域社会の持続的発展を支える高度な経営学・経済学の理論と先端的手法を修得している。
- (2) 社会科学的分野から、地域資源を活用して多様な発展を遂げつつある地域生物産業を担う企業や関連産業・地域企業や地域社会の持続的発展と総合的な問題解決に寄与する知識と能力を身につけている。
- (3) 論文の執筆や口頭発表を行う能力と、多様な発信力やコミュニケーション力を身につけている。

## 博士後期課程

### ＜農学研究科＞

農学研究科博士後期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学を基盤とした生物資源、生命科学、環境科学、健康科学ならびに経営・経済の分野において、農学に対する深い理解の上に、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者および高度専門技術者を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、かつ学位論文を提出して学位論文

審査基準に基づく審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有している。
- (2) 協調性を持ちながらも自立して、研究者、教育者あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。
- (3) 多様なコミュニケーション能力を有し、地域であるいは国際的に活躍しうる能力を有している。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとしている。

### ＜農学専攻＞

農学専攻博士後期課程は、作物または園芸作物の生産、育種、バイオテクノロジー、ポストハーベストおよび農作物に関わる微生物や昆虫類に関する分野において、優れた人間性を有し、国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 本専攻における各専門分野における高い専門性を保証する国際的レベルでの高度な知識と技術を有している。
- (2) 協調性を持ちながらも独立して、研究・教育あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。
- (3) 多様かつ柔軟なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有している。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、農業現場および広く社会において自らの能力によって責任を果たそうとしている。

### ＜畜産学専攻＞

畜産学専攻博士後期課程では、畜産・動物科学分野において、より高度で専門的な知識と技術を合わせ持ち、関連分野で様々な課題に対応できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 畜産・動物科学分野を俯瞰した知識とより高度な専門知識を有している。
- (2) 課題に対し自ら考え、これを高度なレベルで検証する意欲と能力を有している。
- (3) 課題に対して国際レベルの解決策を導き出し、これを公表し、議論する意欲と能力を備えている。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、社会の発展のため取り組む意欲を備えている。

### ＜バイオセラピー学専攻＞

バイオセラピー学専攻博士後期課程は、環境および福祉農学分野において、社会に潜む解決すべき課題を見出し、高度な専門知識と技術に基づいた研究によって立証し、その解決に向けた方策を社会に提言できる自立した研究者または教育者となる人材を輩出するため、研究科が定める



所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) バイオセラピー学に関する高度な専門知識と技術を有している。
- (2) 論理的で説得力のある論文執筆および研究発表による科学的議論を行うことができる。
- (3) 英語による文章または口頭での表現能力を有している。
- (4) 自立した研究者としての自覚と高い倫理観をもって研究に取り組むことができる。
- (5) 高度な専門知識と技術をもって、研究成果を発信し社会に貢献する意欲を有している。

### ＜バイオサイエンス専攻＞

バイオサイエンス専攻博士後期課程では、生命科学分野において、優れた人間性を有し、国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、かつ学位論文を提出して学位論文審査準に基づく審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。すなわち、生命科学の専門領域において

- (1) 国際的レベルでの高度な知識と技術を有している。
- (2) 協調性を持ちながらも独立して、研究者、教育者あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。
- (3) 高度な問題設定・解決能力を備えている。
- (4) 科学者倫理を理解し、研究組織におけるリーダーシップを備えている。
- (5) 研究成果を国際的に発信する能力を備えている。

### ＜農芸化学専攻＞

農芸化学専攻後期課程では、人類の生活に関わる課題に対し、農芸化学を基盤とした高度な専門性を持ち、国際化し多様化する社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できる幅広い知識と判断力を有した研究者や高度専門職業人たる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 農芸化学に関する高度な専門知識と研究能力を有している。
- (2) 論文作成能力を有し、その研究成果をもとに国際社会に貢献できる。
- (3) 研究者、高度専門職業人の指導、育成に貢献できる。
- (4) 自ら研究課題を開拓し、独創的な研究を遂行できる。

### ＜醸造学専攻＞

醸造学専攻博士後期課程は、基礎科学知識に精通し醸造学および微生物学、化学、生物工学の学問分野において自立した研究活動ならびに指導を行うことのできる研究者を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 酒類生産学、発酵食品学、醸造微生物学、醸造環境科学などの専門分野において高度な専門知識と創造的な研究能力を有している。
- (2) 専門分野において問題設定および解決にむけた指導的能力を備えている。
- (3) 多様なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有している。

- (4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとする意欲を有している。

### ＜食品栄養学専攻＞

食品栄養学専攻博士後期課程は、本学・農学研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する確固たる深い専門的知識および研究能力を備え、食品栄養学周辺領域の人とも協同し、広く国内外でリーダーとして活躍できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 食品栄養学の分野において、高度で深い体系的知識と分析力を有している。
- (2) 科学者倫理を理解し、問題設定および課題解決に向けた指導的能力を有している。
- (3) 食品栄養学の分野における研究成果を国際的に発信できる能力を有している。

### ＜林学専攻＞

林学専攻博士後期課程では、森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力および問題解決に向けてのリーダーシップを備えた人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における高度な知識を有している。
- (2) 森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における創造的な研究能力を有している。
- (3) 森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における問題設定・解決能力および問題解決に向けてのリーダーシップを備えている。

### ＜農業工学専攻＞

農業工学専攻博士後期課程では、農業土木および農業機械分野の学問を基軸として、国内のみならず海外の現場での技術開発・問題解決と学術的な研究を両立できる高度な能力を持った人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 農業工学に関する高度な専門知識と優れた研究能力を有している。
- (2) 国内のみならず海外の現場での農業工学の専門領域における具体的な問題解決に資する高度な能力を備えている。

### ＜造園学専攻＞

造園学専攻博士後期課程では、「人間と自然との共存」を基本とした合理的で快適な土地空間を創造あるいは保全し、秩序づけることのできる高度な知識と技術を持つ優れた研究者や高度な専門技術者となり得る人材を輩出するために、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 造園学に関する高度な専門知識と技術、独創的な研究手法と優れた研究能力を修得している。
- (2) 造園学の専門領域における具体的な問題設定および解決に向けた高い指導的能力を備えている。
- (3) 多様かつ柔軟なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有している。
- (4) 高度な専門性を有する科学者としての倫理観を有し、広く社会への責任を果たそうとする強い意欲と能力を備えている。

### ＜国際農業開発学専攻＞

国際農業開発学専攻博士後期課程では、高度な専門知識を踏まえて、国内外の農業開発ならびに国際協力分野でリーダーシップを持って活躍できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 自然科学と社会科学にわたる領域において、世界各地の多様な自然と社会を理解するための素養となる高度な知識を有している。
- (2) 農業開発や国際協力にかかわる諸問題を明らかにし、その解決のために、高度な専門知識をふまえて研究方針と目的を設定することができる。
- (3) 農業開発や国際協力にかかわる研究を、高度な専門知識をふまえて遂行する能力を有している。
- (4) 農業開発や国際協力にかかわる研究成果を発表し、その成果を社会の中で活かすためにリーダーシップを発揮することができる。

### ＜農業経済学専攻＞

農業経済学専攻博士後期課程は、農業経済学および関連社会科学分野において、複雑な社会・経済情勢の中からの確かつ体系的に情報を整理する能力と論理的思考能力を有し、国際社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 農業経済学の専門領域における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識を有している。
- (2) 体系的に情報を整理し、論理的思考に基づく研究能力を有している。
- (3) 食料問題・農業問題・環境問題等の解決に向け、リーダーシップ能力を有している。
- (4) 社会科学の視点から倫理を理解し、社会の諸問題を広い視野から解決できる能力を有している。

## ＜国際バイオビジネス学専攻＞

国際バイオビジネス学専攻博士後期課程では、バイオビジネス学分野において、バイオビジネスの持続的発展に寄与する研究者等の人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 経営学を基礎とするバイオビジネス学の高度な専門知識と研究能力を有している。
- (2) 問題解決のための高度な計画立案・遂行能力を有している。
- (3) 国内外で調査・研究・発表ができる言語能力を備えている。

## ＜環境共生学専攻＞

環境共生学専攻博士後期課程では、農学分野において環境共生学に対して深く理解する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 自然科学、社会科学および人文科学を基礎とした総合科学分野における高度な知識と独創的な研究能力を有している。
- (2) 環境共生型社会の構築と維持に向けた課題への解決能力と、専門性に基づいて社会に対し貢献できる指導力を有している。

## ＜生物産業学研究科＞

### ＜生物産業学専攻＞

生物産業学専攻博士後期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、北方圏の地域性を活用した生物産業学を基盤としたそれぞれの専攻分野において、高度な知識と技術を有する研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による博士論文の審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。

- (1) 専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を身につけている。
- (2) 協調性を持ちながらも独立して、研究者、教育者あるいは高度な専門家としての業務を遂行する能力を身につけている。
- (3) 多様なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を身につけている。
- (4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとする意欲と能力を身につけている。